

八幡平市 地球温暖化対策実行計画【区域施策編】(概要版)

～みんなが地球環境に配慮し、低炭素化したまちづくりに取り組む 八幡平市～

第1章 計画の基本的事項

計画の背景

2015(平成27)年には、第21回締約国会議(COP21)で「パリ協定」が採択され、我が国においては、「日本の約束草案」を決定し、温室効果ガスの排出削減や吸収源の確保の目標を掲げ、2030(令和12)年度に2013(平成25)年度比26.0%減の水準としました。さらに、2016(平成28)年に「地球温暖化対策計画」が閣議決定され、長期的目標として2050(令和32)年までに80%の温室効果ガスの排出削減を目指すこととしています。一方、岩手県においては、2012(平成24)年に「岩手県地球温暖化対策実行計画」を策定し、2020(令和2)年度に1990(平成2)年度比25%減(2005(平成17)年度比29%減)の目標を掲げ地球温暖化対策に取り組んでいます。

計画策定の趣旨

本計画は、市民、事業者及び市が地球温暖化対策を進める上での具体的な目標や方向性について地球温暖化対策実行計画(区域施策編)として策定し、施策を実施することにより地球温暖化防止に貢献することを目的とします。

対象とする温室効果ガス

本計画で対象とする温室効果ガス
 二酸化炭素(CO₂)・メタン(CH₄)・一酸化二窒素(N₂O)

計画の期間

基準年度: 2013(平成25)年度
 目標年度: 中期 2030(令和12)年度, 長期 2050(令和32)年度



計画の位置づけ

本計画は、温対法第21条に基づく地方公共団体実行計画(区域施策編)で、市政の最上位計画である「八幡平市総合計画」や市の環境の保全と創造に関する施策の方向性を示す「八幡平市環境基本計画」の下位計画に位置付けられます。

第2章 八幡平市の特性

再生可能エネルギー資源量調査結果

- 市内には日本で最初の地熱発電所である松川地熱発電所があるほか、多くの小水力発電所があり、自然エネルギー利用が盛んな地域(自然エネルギー事業の発電出力 41,308kW)
- 公共施設においては、ペレットストーブや地中熱利用など自然エネルギーの有効利用を促進しています。
- 再生可能エネルギー資源量調査結果より、地熱発電が約155千世帯分、陸上風力が約263千世帯分の利用可能量が見込まれるなど、これまでの再生可能エネルギーの導入量を考慮すると、まだ導入余地があると言えます。

※利用可能量(世帯)のうち、1世帯あたりの平均的な電気使用量は5,686kWh、熱使用量(ガス及び灯油)は35,994MJとした(家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング(平成26年(2014年)～28年(2016年)平均)における平均使用量を元に算出)。

市民・事業者アンケート調査結果

調査概要

項目	市民アンケート	事業者アンケート
調査対象	18歳以上の市民(無作為抽出)	市内にある事業所(無作為抽出)
配布数	1,000通(1,000人)	100通(100事業所)
回収数	290通	54通
回収率	29.0%	54.0%
調査方法	郵送により配布・回収	
実施期間	平成29年8月2日～平成29年8月17日(15日間)	

調査結果

市民アンケート

- 地球温暖化問題への関心を高めることは省エネルギーへの取組みを推進する上で有効。
- 地球温暖化問題への関心は上の年代ほど高く、若い世代の方にも継続的に関心を持ってもらうことが重要。
- 環境基本計画に基づいた地球温暖化防止に関連する取組みのうち、「地球温暖化防止に関する情報提供」は取組みを一層推進する項目として挙げられる。

事業者アンケート

- 地球温暖化問題への関心を高めることは省エネ診断等を通じた地球温暖化対策に有効。
- 新エネルギーや革新的なエネルギーの利用を促進するには利用に関する重要性や経済性についての情報の提供が有効。
- 環境基本計画に基づいた地球温暖化防止に関連する取組みのうち、「低公害車車両の導入」は取組みを一層推進する項目として挙げられる。

第3章 温室効果ガスの排出状況

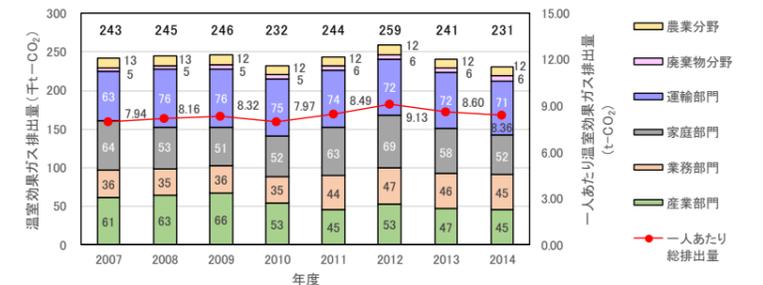
本市の温室効果ガス排出量の推移

2007(平成19)年度以降、2010(平成22)年度まで減少傾向となっていました。2011(平成23)年に発生した東日本大震災の影響や原子力発電所の停止による火力発電の増加による影響等により2011(平成23)年度、2012(平成24)年度に前年度比で増加しましたが2013(平成25)年度以降減少傾向となっています。

部門別では、運輸部門からの排出量が最も多く、全体の約30%を占め、家庭部門が約24%、産業部門が約20%、業務部門(小売店舗・事務所等)が約19%となっています。ガス種別では、二酸化炭素が約95%となっています。

2013(平成25)年度

温室効果ガス排出量 : 241千t-CO₂
 一人あたりの総排出量 : 8.60t-CO₂



第4章 温室効果ガスの将来推計と削減目標

温室効果ガスの将来推計

現状すう勢ケース及び施策の実施による削減効果を含めた2030(令和12)年度温室効果ガス排出量

温室効果ガス排出量 : 148千t-CO₂(2013(平成25)年度比△38.4%)
 一人あたり総排出量 : 7.33t-CO₂(2013(平成25)年度比△14.8%)

※現状すう勢ケース: 今後追加的な対策を見込まないまま推移した場合の将来排出量
 ※電力排出係数は、2013(平成25)年度値で固定。

温室効果ガスの削減目標

市民一人あたりの温室効果ガス排出量の削減目標

(中期目標:目標年 2030年)

15%減(2013(平成25)年度比)

温室効果ガス削減率:39%減(2013(平成25)年度比)

※電力排出係数:2013(平成25)年度値(0.591kg-CO₂/kWh)で固定

※長期目標(目標年:2050年)は、80%減(2013(平成25)年度比)



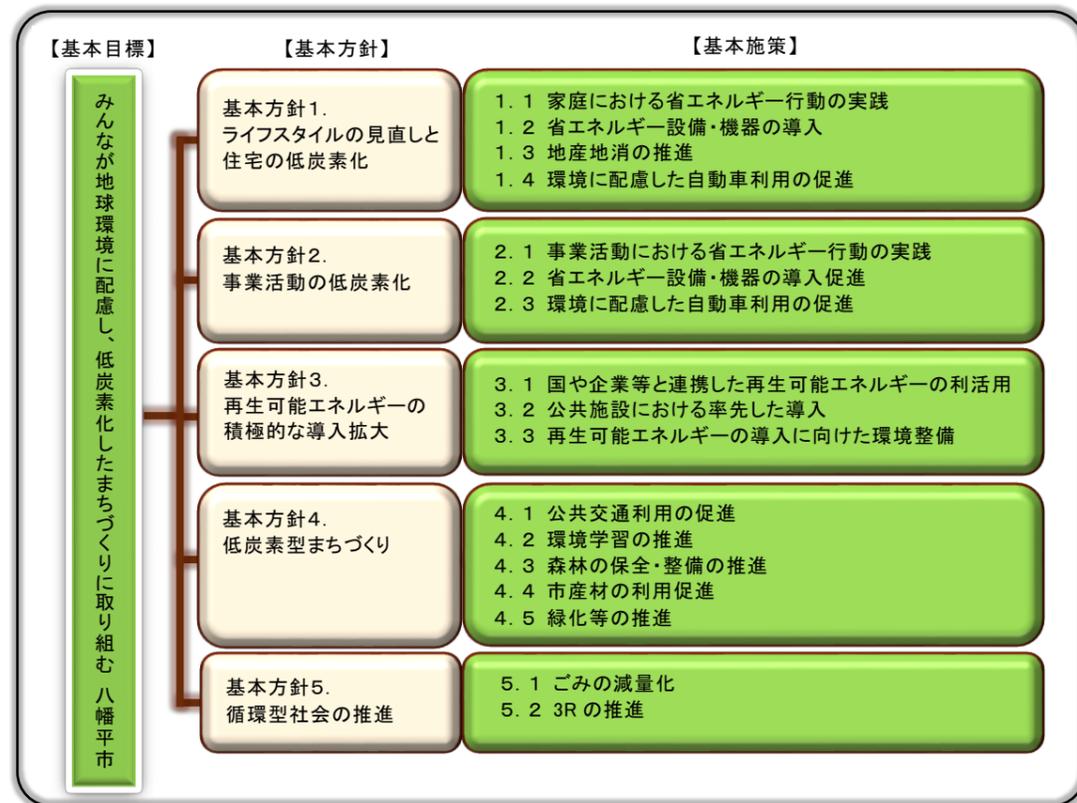
第5章 地球温暖化防止のための取組(緩和策)

市民・事業者・市の役割

温室効果ガスの排出抑制に向け、市民・事業者・市の各取組主体が地球温暖化問題に対する認識を共有し、自ら対策に積極的に取り組むとともに協働・連携して行動することが重要となります。農家、小規模な商店や食堂等の個人事業主は、事業者としての役割を担い、民間団体や滞在者は、それぞれの立場において、市民もしくは事業者に準じた役割を担うことが求められます。

施策の体系

基本目標、基本方針を踏まえて、施策体系を以下のとおりとします。



第6章 地球温暖化による気候変動の影響への取組(適応策)

分野ごとの適応施策

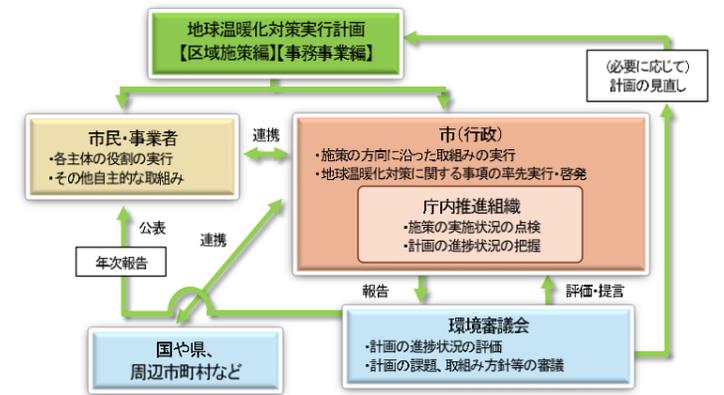
本市としては、国や岩手県と同様に7つの分野における適応施策について他の計画や各種取組と相互連携を図りつつ、庁内関係部局と適応に関する認識を共有しながら進めていきます。

気候変動とその影響について、より正確に理解することための情報収集・研究を進めます。また、市民・事業者に対し、気候変動やその影響についての普及啓発や広報活動を行い、適応に対する意義や取組の重要性について理解の浸透を図ります。

第7章 実行性のある計画とするために

推進体制

地球温暖化対策実行計画を円滑かつ効率的に推進していくために、環境基本計画における推進体制と同様に市民・事業者・市が、それぞれの役割を実行できるよう連携を図ります。



計画の進行管理

進行管理指標と目標値

基本目標	基本方針	進行管理指標	単位	目指す方向	現状 2013 (H25) 年度	目標 2030 (R12) 年度
みんなが地球環境に配慮し、低炭素化したまちづくりに取り組む八幡平市	基本方針1. ライフスタイルの見直しと住宅の低炭素化	環境イベント・講習会の開催数	回/年	継続	5	4
		市営住宅の省エネルギー化【累積】	件	継続	6	170
		市域における電気自動車充電器設置箇所の周知	—	実施	—	実施
	基本方針2. 事業活動の低炭素化	環境イベント・講習会の開催数【再掲】	回/年	継続	5	4
		市域における電気自動車充電器設置箇所の周知【再掲】	—	実施	—	実施
		市公用車への次世代自動車の導入	台	増加	—	5
	基本方針3. 再生可能エネルギーの積極的な導入拡大	公共施設への再生可能エネルギー設備の導入【累積】	kW	増加	0	1,221
		再生可能エネルギー発電の事業化【累積】	kW	増加	41,271	276,000
		ストーブ購入に対する補助件数【累計】	件	継続	22	379
	基本方針4. 低炭素型まちづくり	環境イベント・講習会の開催数【再掲】	回/年	継続	5	4
		森林整備事業実施面積	ha	継続	245	230
		再造林面積【累計】	ha	継続	42	30
		ストーブ購入に対する補助件数【累計】【再掲】	件	継続	22	379
	基本方針5. 循環型社会の推進	市産材使用量【累計】	m ³	増加	381.35	1,700
		環境整備活動と緑化活動事業の支援	件	維持	25	510
		生活系ごみの排出量	t	減少	7,273	6,635 2021 (R3)
			事業系ごみの排出量	t	減少	3,459
		資源ごみ集団回収量	t	維持	163	173 2021 (R3)

進行管理

八幡平市地球温暖化対策実行計画で定められた取組事項については、PDCAサイクルに沿って継続的な改善を図り、効果的な進行管理を行っていきます。

